

1. 冒頭発言

今日はいろいろな要望が出ましたが、一番はグループ補助金について、さらに予算確保をしっかりとしてもらいたいという枠拡大という要望と、また福島原発事故に端を発する風評被害について、特に農業については東電に賠償請求しているのですが、その支払いがなかなかおこなわれているという話、それから漁業についても、今のところ大きな要望は出ていませんけれども、将来のことを考えて、いろいろ心配はしているみたいな、そんな意見はありました。

多々あったのですが、あと質問があればお答えします。

2. 質疑応答

（問）二重ローンの問題については、やりとりはありましたでしょうか。

（答）二重ローンは池田社長から話があって、かつて債権回収機構、いわゆるRCCの時代に、債権を買い取るというと、企業は不良債権を抱えて、会社が要するに経営がだめになっているという、そういうどちらかという烙印をおされたのですよね。

昨日も岩手県でちょっと話をしたときに、産業再生機構にいて債権を借りていってもらおうということに関しては、非常に抵抗感があるという話がありました。

それはなぜかという、その会社の経営力がだめだから、何か不良債権みたいなものを抱えているということについての風評が出てくるということ懸念されるということ言われました。

今日、池田社長からお話あったのは、今回は被災した企業ですから、債権の買い取りそのものについては、今なかなかすみませんけれども、債権の買い取りというのは、被災した企業に対する、要するに再生の一種の投資なのだということを今日力説されていまして、それはそのとおりの話で、このことについては私どもも改めて復興庁が今回担当なのですが、その風評被害云々というのは、確かに地元のほうではまだ債権回収機構的な考え方で見ている人があるなということですから、これは改めていかなければいかんというふうには思いました。そのことを池田社長が今日力説されていました。

私どもも、池田社長のおっしゃったことについては、しっかりこれからやっていかなければいかんと思います。堂々とということを使ったのですけれども、堂々と要するに支援機構、産業再生機構に相談に行き、支援をもらうということをやれるような環境になればいいと思います。

現にグループ補助金はみんな来るわけですから、グループ補助金をもらって、別にだれからもあの企業はおかしいなと言われないので、それと同じある程度の流れの中で、二重ローン問題に対応するということですから、むしろ補助金に頼らないで、自分たちで企業再生をやっと再生しようということなので、それを使う企業はもっともっと評価されても

いいのではないかなというの今日感じました。

(問) 今日、郡政務官の初めのごあいさつにもあったのですけれども、企業連携推進室、復興局の人員を民間からと思うのですけれども、その関係の話は今日はございましたでしょうか。

(郡政務官) 既に宮城復興局に商工会議所から入っていただいて、仕事をしていただいています。そのことについてもお話をいただきました。さらにこれから連携をしていく御期待というの、お話しいただいたと思います。

(問) あとは大臣常々おっしゃっている産業の復興に向けては、今日の出席者からは何か意見はありましたか。

(答) 中小企業の団体や連合会の会長、商工会長初め、とにかくみんな復興したいと、復旧したいという意欲を持っている企業が多いのだということ、それからあと一次産業のJAやJFも、とにかく復興に向けて今一生懸命になって取り組んでいるということ、みんな意欲は持っているの、この意欲をとにかく活かすように、支援していくということだと思います。

(問) グループ補助金の関係なのですけれども、先ほど拡大の要望もあったということなのですが、拡大以上に自己資金か4分の1でなければいけないという仕組みに対して、企業関係者とか、非常に運転資金のやりとりも含めて、難しいという指摘もあるのですが、その辺についてはいかがでしょうか。

(答) 今日も言われました。ただ、これまで4分の3の補助金でしょう。それで、あと4分の1は、ぜひこれは私らも頑張らなければいかんのですけれども、地元金融機関ですよ。そういった融資ということについては、やってもらうように私らもしっかり働きかけなければいかんと思います。4分の3やって、4分の1のができないからというのは、非常に残念です。だから、繰り返しになってありますが、地域金融にとってはある意味出番でもありますよね。

そういったことは、私達の方からも強く要請していかなくてはならないというふうに思っています。中小企業庁も、今そういうことで、私達も出したのですから、地元の方もお願いしますよということでは、今やっていますけれども、引き続きやりたいと思います。

(問) 地元金融機関に対しての働きかけというのは、具体的に何かこれというのは。

(答) こういう場を通じてですね。

昨日も岩手県では、経済同友会の会長さんが岩手県の岩手銀行の頭取だったということもあって、特に銀行にはお願いしましたがけれども、そこは金融機関もわかっているのですよね。

だから、そういう意味で、繰り返しますが、4分の3のグループ補助が出た企業というのは、それなりにやる気があるというふうに、見込みがあるという企業だから、4分の1の部分で困るといことがないようには、是非してもらいたいと思いますね。

(以 上)